

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第 92 回

『『人生の道を勇ましく前進』 ～ 「一筋の光」を放す ～』

2022年1月14日、病理医として約40年継続している「病理標本診断」の業務を終えてから、倫理委員を務める順天堂大学での『第6回 医学部医学系研究等倫理委員会』に向かった。今回の学びは「『文書同意』vs『口頭同意』は、これからの大きな倫理的課題となろう」であった。大変有意義な時であった。

『医療者の 2つの使命～』

- (1) 「学問的、科学的な責任」で、病気を診断・治療するー>学者的な面
- (2) 「人間的な責任」で、手をさしのべるー>患者と温かい人間としての
関係

の復習の時ともなった。

2022年1月15日は、「川口がん哲学カフェ『いずみ』会所5周年記念」(添付; 西川口教会に於いて)での講演『人生の道を勇ましく前進 ～よりよいゴールに向かって～』に赴いた。多数の質問もあり、個人面談も行い、大変充実した時であった。「川口がん哲学カフェ『いずみ』」代表の金田佐久子 牧師からは、「樋野動物園に「『子ロバ』」でお願いいたします。(イエス様をお乗せしたから)」との連絡があった。「管理人ゴリラ」(森尚子 目白がん哲学外来カフェ代表)によれば、『樋野園長+142名になりました。』とのことである。皆さまの「冗談を本気で実現する胆力」には、ただただ感服である。「役割意識 & 使命感」の自覚へと導くことであろう。これが、「悩める人を癒す」実践ではなかろうか!

筆者の小学校の卒業式での来賓の「ボーイズ・ビー・アンビシャス」(boys be ambitious)『1877年札幌農学校を率いたウィリアム・クラーク(1826-1886)博士の言葉』言葉が鮮明に思い出される日々である。クラーク精神が内村鑑三(1861-1930)、新渡戸稲造(1862-1933)、南原繁(1889-1974)、矢内原忠雄(1893-1961)と繋がった。そして、英文で書かれた『代表的日本人』(内村鑑三)&『武士道』(新渡戸稲造)は、若き日からの座右の書である。まさに「すべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています」

(ローマ人への手紙8章28節)の実体験である。南原繁が東大総長時代の医学部の学生であった癌研時代の恩師:菅野晴夫先生(1925-2016)の「言葉の処方箋」の絵葉書がこの度、作成され、今回の『いずみ』カフェでも配布された(画像)。大いに感動した。『複雑な現代社会・混沌の中で、「一筋の光」を放す、ユーモア(you more)に溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物』の育成は、時代的要請でもあろう!

川口がん哲学カフェ「いずみ」
開所5周年記念講演会

講師: 樋野 興夫(おき) さま
1964年、鳥取県生まれ。新潟県醸造センター長、順天堂大学名誉教授、順天堂大学医学部、後援・臨床学員教授、一般社団法人がん哲学外来理事長、東京大学非常勤、2008年『がん哲学外来』を創設。がん、中絶を扱った患者の間に「聖賢」も居る感動を経験している。著書に『自分らしく生き残る患者の物語(いづみからここに発信)』『生きがいにつづく、いい言葉』(IPF研究会)、『がん哲学のレッスン』(かもがわ出版) 樋野 興夫。

2022年 **1月15日(土)**
午後1:30~3:00
(開場・受付 午後1:30)

講演 「人生の道を勇ましく前進
—よりよいゴールに向かって—」

プログラム: 樋野興夫先生のご講演と質疑応答

- どなたでもお申し込みいただけます。入場無料、定員30人
- FAXまたはメールにてご連絡ください(要予約)
- 予約の受付と、受付で予約確認をお願いします。
- 会場では、座席を取って着席します。
- 席料換取しますので、確かい連絡をいらしてください。

主 催: 川口がん哲学カフェ世話人会
後 援: 一般社団法人 がん哲学外来
(http://www.gan-philosophy.org/)

会 場: 日本キリスト教団 西川口教会
〒332-0035 埼玉県川口市西青木1-25-21
TEL: 048-252-7036 FAX: 048-258-6630

問合せ: 担当 TEL: 090-8494-6316 (金田)
メール: kawaguchiizumicafe@outlook.jp

〒332-0035 埼玉県川口市西青木1-25-21
日本基督教団の教会
教会 TEL: 048-252-7036
教会 FAX: 048-258-6630

後援: 一般社団法人がん哲学外来

川口がん哲学カフェ「いずみ」

「がん哲学外来」は、樋野興夫先生(醸造戸醸造センター長、順天堂大学名誉教授、一般社団法人がん哲学外来理事長)の提唱により始まりました。
「がん哲学外来」とは、がんになったことで、生きることに根源的な意味を問い、考えようとする人たちの対話の場です。
「がん哲学外来」の「ら-カフェ」は、お茶を飲みながら、ゆったりとした雰囲気の中で、患者さんや、ご家族や関係を持つ人たちが同一の平面上で対話する場です。
どなたもお越しいただけます。お茶を飲みながら、ご一様にお話しください(要予約)。どちらも連絡ができません。アパックスまたはメールにてご連絡ください(要予約)。どちらも連絡ができません。は、担当までお電話ください。
あなたの思いでもお持ちしています。

2022年の「いずみ」開催日
1月15日(土)は、樋野先生の講演会です(13:30~)
3月12日(土)、5月14日(土)、6月11日(土)、
7月9日(土)、9月10日(土)、10月8日(土)、
11月12日(土)

すべて、午後1時30分~3時30分、入場無料。
(2月12日・4月9日・8月13日・12月10日は、
同じ時間帯で、オンライン開催の予定です)

主催: 川口がん哲学カフェ世話人会
担当: 金田佐久子
メール: kawaguchiizumicafe@outlook.jp
TEL: 090-8494-6316 (金田)

会場・連絡先
〒332-0035
埼玉県川口市西青木1-25-21
日本基督教団の教会
教会 TEL: 048-252-7036
教会 FAX: 048-258-6630

後援: 一般社団法人がん哲学外来

